

H28年度西陵中学校3年生実施による

全国学力・学習状況調査結果から

※個票に関しましては、**10月4日(火)**に各個人に返却いたします。

今年度の全国学力・学習状況調査は国語・数学の2教科が、4月に3年生で実施されました。調査の結果が8月中旬に届き、その結果から各教科並びに生活習慣における本校3年生の優れている分野(強み)や不足している領域(弱み)について分析しました。これらの分析を元に、優れていると考えられる分野での実践の継続や、やや不足していると考えられる部分の力をのばす授業実践の工夫や生活改善につなげ、更に充実した学校生活を送れるよう取り組んでまいりたいと思います。

本年度の調査は、国語と数学の(A)知識力を問う問題と、(B)知識活用力を問う問題の2種類がありましたが、いずれも実生活の中で不可欠なもので、実生活の様々な場面で活用したり、課題を解決したりする力としてぜひ身につけさせたい「学力」と考えています。以下に本校における各教科の特徴的なところをお伝えします。

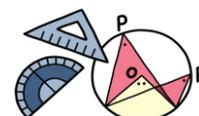
<国語>

国語Aは正答率で全国及び三重県平均より高く、「知識」に関しては、満足できるものでした。問題文をしっかりと読み、**最後まで粘り強く取り組む姿勢が本校の強み**であり、**無解答率も低く**なっています。本校の生徒にみられるこの特性は今後も大切にしていきたいところです。

しかし、Bの「活用」に関しては三重県平均より高いものの、全国平均よりは少し低くなっています。特に課題を設定し、それに応じた情報の収集方法を考えることに苦手な生徒が多いようです。

日ごろから教科書教材だけでなく、幅広い文章教材を活用してさまざまな文章に読み慣れさせるよう取り組んでいますが、より一層充実した取り組みにしたいと考えます。

また、生活ノートや行事後のまとめなど普段から文章を書く機会を多く持ち、得られた知識を場面に応じて正しく活用できるような指導や文章の構成、場面や行間を考えさせながら読み取りをさせる指導の工夫・充実を図っていきたいと考えています。



<数学>

数学は正答率で、A・Bともに全国及び三重県平均を上回っており、「知識」や「活用」の「数と式」に関しては、満足できるものでした。毎日の課題プリントやワークシートについて、まじめに取り組むことができ、間違えた問題は何回も行うことにより力がついてきています。

しかし、図形の証明や方程式を作る問題・関数については正答率が低く、B問題については無解答率が高くなっています。学校生活の中で時間を有効につかえるようにし、最後まで粘り強く問題に取り組む姿勢を作っていきたいと考えています。

学校として、基礎的な問題の繰り返し学習を行い学力の定着を図るとともに、日ごろの授業実践において文字式の認識の徹底を行い、幅広い内容の応用問題に取り組むなど、できる限り数多くの数学的活動を取り入れた問題解決学習を心がけることで、子どもたちの弱い部分を伸ばしていきたいと考えます。

また、この調査には教科以外に生徒質問紙というものがあります。その内容で「**人が困っているときは、進んで助けていますか**」「**人の役に立つ人間になりたいと思いますか**」「**いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか**」の質問に対しては**多くの生徒が肯定的な回答**をしています。このような思いやりのある生徒が育っていることが何よりもうれしく思います。

学習面では、「**生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか**」の質問に対して**肯定的な回答をした生徒が多く**、個々の授業に積極的に取り組んでいる生徒が多いと考えられます。

このように、**生徒質問用紙の多くの質問で肯定的な回答が全国平均より高くなっていますが**、その一方で、「自分には、よいところがあると思いますか」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」の質問は**全国平均より低くなっています**。学校生活の中では、生徒が活躍する場面を多く設定し、褒める機会を数多く見つけ、個々の生徒が持つ力を引き出し、認めていくことで自己肯定感を高めていきたいと考えています。

全体を通して基本的な生活習慣が身につけている生徒が多く、家庭や学校での生活が充実しているように感じます。生活習慣と学習習慣とは密接に関係しており、学校での生活指導に対する家庭、地域の理解や協力、支援が大きく影響していると思われれます。より一層の家庭、地域と学校の連携をすすめていきたいと考えます。

一方、ゲームやインターネット、携帯・スマートフォンの使用ルールに関する意識は安全教室等の効果が出てきたものの、まだまだそれらに割く時間が多く、学習時間の確保については課題も残っています。また、いじめに対する意識についても注目していかななくてはなりません。

学校は、これまで以上に授業（宿題を含む）の充実や自ら学ぶ姿勢を培う学習指導を推進し、いじめに関する意識の改革のため、心の教育にもより一層力を入れて取り組んでまいります。